

映画

高尾 凌真

映写機が

スクリーンに

映画を写し出すように

ぼくたちも

目というスクリーンに

「世の中」という名の映画を

写している。

映画は

時間が決まっている。

でも、ぼくたちのみている映画は

ぼくたちのスクリーンが壊れないかぎり

ずっと止まらない。

ぼくたちの見ている映画は

今すぐにみられるが

ぼくたちが主人公の

「人生」という名の映画は

ぼくたちのスクリーンでは

みられないだろう。

「世の中」という名の映画は

ストーリーが決まっている。

だから、

そのストーリーを一つでも多く知るために

一日でも長く

「映画」をみていよう。